



コンケイブを強調するようなラインで剛性を確保するスポークサイドのリップは重量増を極限まで抑制するために薄く、そして低く仕上げられてきた。



鍛造ホイールのようなスリムさに仕上げられたスポークは、フランジ剛性を高めるためにスポークエンドでフランジを押しあわせるようにデザインされている。



クッキリとしたフェイスに上げるために、ディスクとリムの間に引かれた境界線。鋳出し文字と合わせて、外周部に立体感が与えられている。

THE NEWEST WHEEL

ZR7は輝かしいメタルテストでスタイリッシュさを高めるグローガンメタ、精悍な造形美が楽しめるマットブラック、スポーティさを強く押し出すチタニウムホワイトをラインアップ。今回はFDJを戦う星光自動車のGR86にマッチングしたが、色鮮やかなレーシングカラーのワイドボディにも負けることのない濃とした存在感を放っていた。



MATCHING SIZE
WHEEL : F9.5J×19+22
R10.5J×19+12
TIRE : FR285/35R19
(VALINO PERGEA 08R)

剛性と軽量を突き詰めた新機軸

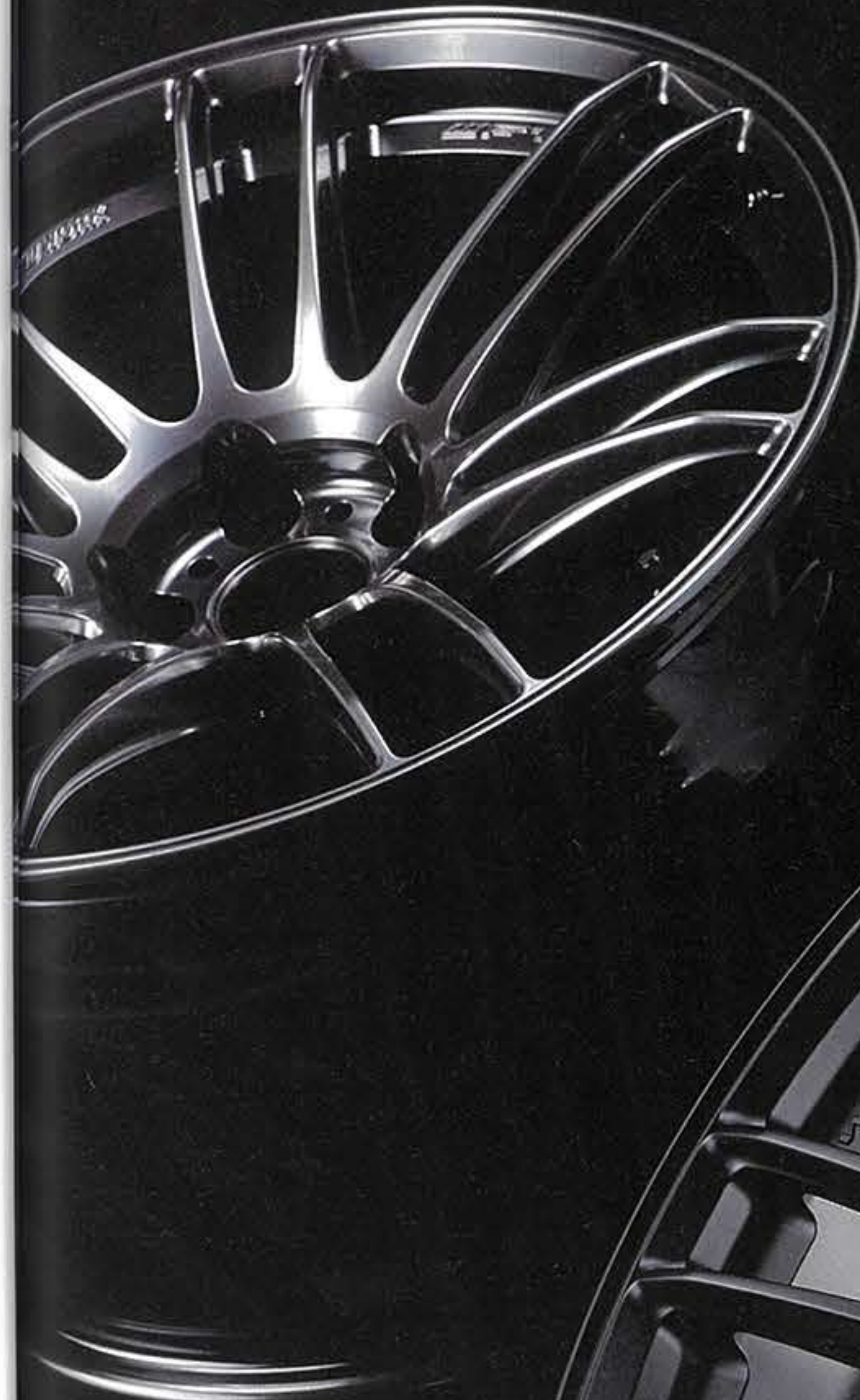
レーシングホイールの設計思想を落とし込み、機能美に溢れるスポーツホイールを生み出すワークエモーション。その最新作となるZR7は、ブランド誕生20周年の節目にシリーズ最軽量モデルとしてプロデュースされたZR10と同じく、「Z」情熱、熱意「R」レーシングの「S」ペシャルネームが与えられている。さて、そんな注目モデルの開発コンセプトは、「ZR10を超える剛性と軽さの探求」だ。

まず、1本のスポークに掛かる負荷を2×7のツインスポークレイアウトで軽減したZR7は、鍛造ホイールに迫るスポーク天面のスリムさを引き出した。こうしたスリムスポークでは剛性を引き出すためにサイド面のリップが不可欠だが、こ

でも無駄な重量増はシャットアウト。低く、そして薄く設計したリップ形状によって剛性を確保して、軽さを引き出す徹底ぶりを見せつけている。

また、負荷の掛かるアウターフランジの剛性は、フランジを押しさえ込むようにスポークエンドを引き延ばして確保。ディスクとフランジの間に境界線を引くように溝を彫り込むことで、クッキリとしたフェイスデザインに仕上げながら、ここでもグラム単位で軽さを突き詰めてきた。

こうした細かな積み重ねで生み出された2×7デザインのリレーシングコンケイブは、軽快でスタイリッシュな見た目だけでなく、スポーツホイールとして十二分な軽さも誇っている。物理的に考えて10本スポーク



センターハートはZR10でも採用されたアンダーカットやホールによる軽量化が施されている。一切の駄肉を許さない削ぎ落としの痕跡は立派な造形美のひとつだ。

WORK WORK EMOTION ZR7

ワーク 06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

SIZE : 17inch 7.0J~9.0J
18inch 7.5J~10.5J
19inch 8.0J~10.5J
COLOR : チタニウムホワイト、
マットブラック、
グローガンメタ
PRICE : ¥52,800~¥71,500